

Crossing Boundaries

Art and History II

2013. 2.23 (Sat) 13:30 - 17:30 (受付)13:00～

場所：京都大学人文科学研究所本館セミナー室1 (101号室)



Green Fields (1937)

差異の表象と越境をテーマに、若手研究者ワークショップを開催します。

<プログラム>

大浜郁子 (琉球大学)

米軍による「沖縄人」と「日本人」の分離政策にみる差異の表象——沖縄戦、引揚げ、「戦後」沖縄

平井克尚 (京都大学)

越境者エドガー・G・ウルマーのマイナーな身振り——全米結核協会のための短編教育映画

They Do Come Back (1940)

映画上映会 (解説：平井克尚)

エドガー・G・ウルマー監督 *Green Fields* (1937) (英語字幕付き / 日本語字幕・吹き替えなし)

修行中の主人公の青年は真のユダヤ人の町を求める旅の途上、リトアニアにあるユダヤ人の農村に滞在する。短期間の滞在の予定であったが、村人たちの素朴な生活に感じ入り、村の娘と恋仲になり、村に留まることを決心する。本作品は、B級映画の帝王として知られるエドガー・G・ウルマーが西海岸ハリウッドで活躍する前に東海岸ニューヨークでマイノリティ映画を製作していた時期の作品の一つ。

プログラムの詳細はサイトでご確認下さい。 <http://race.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>

18時より交流会を予定しております (会費制)。参加希望の方は事前にご連絡下さい。

主催：京都大学人文科学研究所 共同研究「日本・アジアにおける差異の表象」